

## 製品安全データシート

## 製造者情報

会社名	株式会社マルハニチロ食品
住所	東京都江東区豊洲 3-3-20
担当部門	化成食品事業部
電話番号	03-3216-0524
FAX 番号	03-3216-0527
作成	2010年 5月 14日
改訂	2011年 8月 19日

製品名 (化学名、商品名等)	えびかにキャッチャー「マルハニチロ」
製品コード	33972
構成試薬	①テストストリップ ②抽出用試薬(10倍濃縮)

構成試薬名	①テストストリップ
-------	-----------

## 組成、成分情報

単一製品・混合物区別	混合物	混合物	混合物
化学名または一般名	金コロイド	牛血清アルブミン	アジ化ナトリウム
濃度	—	—	—
化学特性(化学式)	データなし	データなし	NaN <sub>3</sub>
CAS 番号	特定されていない	9048-46-8	26628-22-8
官報公示整理番号	特定されていない	特定されていない	化審法：26628-22-8
危険有害成分	特になし	特になし	アジ化ナトリウム

単一製品・混合物区別	その他の内容物 (非公開)
化学名または一般名	非公開
濃度	非公開
化学特性(化学式)	非公開
CAS 番号	非公開
官報公示整理番号	非公開
危険有害成分	特になし

アジ化ナトリウム濃度は0.1%未満のため、統一的なカットオフ値/濃度限界に基づいて記載していません。

構成試薬名	②抽出用試薬(10倍濃縮)
-------	---------------

## 組成、成分情報

単一製品・混合物区別	混合物	混合物	混合物
化学名または一般名	アジ化ナトリウム	Triton X-100	その他の内容物 (非公開)
濃度	—	—	非公開
化学特性(化学式)	NaN <sub>3</sub>	データなし	非公開
CAS 番号	26628-22-8	9002-93-01	非公開
官報公示整理番号	化審法：26628-22-8	化審法：(7)-172	非公開
危険有害成分	アジ化ナトリウム	Triton X-100	特になし

アジ化ナトリウム濃度は0.1%未満のため、統一的なカットオフ値/濃度限界に基づいて記載していません。

## アジ化ナトリウムについて記載

## 危険・有害性の要約

危険有害性情報	: 本製品に使用されているアジ化ナトリウムは低濃度のため、飲み込んだ場合を除き、危険有害性は低いと考えられる。
有害性	: 飲み込んだ場合、有害である
環境影響	: データなし
物理的及び化学的危険性	: 通常の取扱では危険性は低い
GHS 分類	: 分類できない

## 応急措置

吸入した場合	: 口をすすぎ、うがいをさせる。異常があれば医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	: 多量の水および石鹸で洗い流す。異常がある場合は、医師の診断/手当を受ける。
眼に入った場合	: 直ちに多量の水で 15 分以上洗眼する。異常がある場合は、医師の診断/手当を受ける。
飲み込んだ場合	: 多量の水又は食塩水を飲ませて吐かせる。異常がある場合は、医師の診断/手当を受ける。

## 火災時の措置

消火剤	: 粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火剤、二酸化炭素、砂、霧状水
火災時の特有危険有害性	: 火災時に刺激性もしくは有害なガスを発生するため、消火の際には煙を吸い込まないように適切な保護具を着用する。
特有の消火方法	: 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火活動は、可能な限り風上から行う。消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な処置をする。
消火を行なう者の保護	: 消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。

## 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時処置	: 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。作業の際には適切な保護具を着用し、皮膚に付着しないようにする。
環境に対する注意	: 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起ささないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。
回収、中和	: 火気厳禁とし、漏出した液は、ウエス、雑巾または土砂等に吸着させ空容器に回収し、その後を多量の水を用いて洗い流す。

## 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	: 金属と接触すると爆発性化合物を生成する。混合しないように注意する。 酸と反応し、有毒で爆発性のアジ化水素酸を生成するので注意する。
注意事項	: 容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。 使用後は容器を密閉する。 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。 休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではならない。 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等の粗暴な扱いをしない。
安全取扱注意事項	: 眼、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。
保管	
適切な保管条件	: 直射日光を避け、冷所（2～8℃）に密閉して保管する。
技術的対策	: 火気厳禁
混合禁止物質	: 強酸化性物質、火源の近くに保管しない。
安全な容器包装材料	: ガラス、ポリエチレン、ポリプロピレン

## アジ化ナトリウムについて記載

## 暴露防止及び保護措置

設備対策	: 蒸気やミストが発生する場合は、発生源を密閉し、局所排気装置を設置する。
管理濃度 作業環境評価基準	: 設定されていない
許容濃度 OSHA PEL	: 設定されていない
ACGIH (TLV)	: Ceiling 0.11ppm; as hydrazoic acid vapor Ceiling 0.29mg/m <sup>3</sup> ; as sodium azide
日本産業衛生学会	: 設定されていない

## 保護具

呼吸器の保護具	: 保護マスク
手の保護具	: 保護手袋
眼の保護具	: 保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	: 長袖作業衣

## 物理的及び化学的性質

化学名または一般名	: アジ化ナトリウム
形状	: 結晶性粉末又は塊
色	: 白色～ほとんど白色
臭い	: データなし
pH	: 溶性はアルカリ性
融点	: 275°C
沸点(初留点)	: データなし
引火点	: データなし
自然発火温度	: データなし
爆発範囲(上限・下限)	: データなし
蒸気圧	: データなし
比重	: データなし
溶媒に対する溶解性	: 冷水に可溶(40.16%,10°C)、
アルコールに微溶	
n-オクタノール	
／水分係数 log Po/w	: ≤0.3 (平均)

## 安定性及び反応性

安定性	: 日光より分解する。徐々に加熱すると融解して約 300°Cで分解し、窒素を発生しながら金属ナトリウムを生じる。
危険有害反応可能性	: 酸と接触するとアジ化水素を発生する。 重金属と反応して爆発性のアジ化金属化合物を生成する。
避けるべき条件	: 酸、重金属との接触、日光、熱
危険有害な分解発生物	: アジ化水素

## 有害性情報

急性毒性	: 経口 ラット LD <sub>50</sub> : 27mg/kg 吸入 ラット LC <sub>50</sub> : 37mg/m <sup>3</sup> 皮膚 ラット LD <sub>50</sub> : 50mg/kg 経口 マウス LD <sub>50</sub> : 27mg/kg 吸入 マウス LC <sub>50</sub> : 32400mg/m <sup>3</sup> 腹腔 マウス LD <sub>50</sub> : 28mg/kg 吸入蒸気: 常温での蒸気圧 (1 Pa) はラットの吸入 LC <sub>50</sub> (37mg/m <sup>3</sup> )
皮膚腐食性・刺激性	: 動物試験結果・4時間接触で腐食性 (DFGOT vol.20 (2003))

## アジ化ナトリウムについて記載

眼に対する重篤な損傷 生殖細胞変異原性	: データなし : In vitro 微生物変異原性試験での陽性結果があるものの、in vitro 哺乳類細胞変異原性試験では陰性で、さらに哺乳類 in vivo 試験データがない。 強い変異原性は微生物と植物に特有のものとみなされている。
発がん性 特定標的臓器・全身毒性 単回暴露	: ACGIH : A4 ヒトに対して発がん性物質として分類できない物質 (2005) : ヒトについて、血圧低下 (かつては治療薬として使用された) と、その呼吸器・消化器等への副作用と見られる事例が多数ある。
特定標的臓器・全身毒性 反復暴露	: ヒトで高血圧の治療に長期使用した際、一部の患者に感受性の増大が見られた (ACGIH (2001)) こと、動物実験で 10mg/kg・day 以下の投与量で肝臓への影響が見られた。

## 環境影響情報

生態毒性 魚毒性	: 魚類 (ブルーギル) 96 時間 LC <sub>50</sub> =0.7mg/L
残留性/分解性	: 分解度: 1% by HPLC (経産省既存化学物質安全性点検) 急速分解性がない
生体蓄積性	: 生物蓄積性が低いと推定される (log Kow ≤ 0.3 (既存化学物質安全性点検データ))

## 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 可燃性溶剤と共に、スクラバーを具備した焼却炉の火室へ噴霧して焼却する。 製品を含む排水は活性汚泥等の処理により清浄にしてから排出する。 都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。
汚染容器及び包装	: 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

## 輸送上の注意

国連番号	: 1687
品名	: アジ化ナトリウム
国連分類	: クラス 6.1 (毒物)
容器等級	: PG II
海洋汚染物質	: 非該当
注意事項	: 運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実にこなう。

## 適用法令

消防法	: 非該当
毒物及び劇物取締法	: 非該当 (0.1%以下のため適用除外)
労働安全衛生法	: 非該当 (1%以下のため適用除外)
船舶安全法 (危規則)	: 毒物類
航空法	: 毒物
海洋汚染防止法	: 非該当
化学物質管理促進法 (PRTR 法)	: 非該当

## TritonX-100について記載

## 危険・有害性の要約

危険有害性情報	: 本製品に使用されている TritonX-100 は低濃度のため、飲み込んだ場合を除き、危険有害性は低いと考えられる。
有害性	: 飲み込んだ場合、有害である
環境影響	: データなし
物理的及び化学的危険性	: 通常の取扱では危険性は低い
GHS 分類	: 分類できない

## 応急措置

- 一般的な措置：事故が起きたときあるいは気分が悪い場合、直ちに医師の診察を受ける。
- 吸入した場合：吸入による事故の場合は負傷者を新鮮な空気のある場所に移し、休息させる。  
呼吸が弱かったり止まっている場合、衣類をゆるめ呼吸気道を確保した上で人工呼吸を行う。
- 皮膚に付着した場合：皮膚に触れたら、直ちに多量の水で洗う。
- 眼に入った場合：眼に入った場合、直ちに多量の水で洗い流し医師の診察を受ける。
- 飲み込んだ場合：水でよく口の中を洗わせる。意識がある場合、水をコップ1-2杯飲ませた上で、指をのどに差し込んで吐き出させる。
- 応急措置をする者の保護：救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

## 火災時の措置

- 消火剤：火災の場合は霧状水 泡 粉末 炭酸ガス 乾燥砂を使用する。
- 使ってはならない消火剤：特になし。
- 特定の消火方法：速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合には、容器および周囲に散水して冷却する。  
消化作業は、風上から行う。初期の火災には、粉末、二酸化炭素、乾燥砂などを用いる。大規模火災には、泡消火剤などを用いて空気を遮断することが有効である。
- 消化を行う者の保護：消化作業従事者は適切な保護具を着用する。

## 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項：関係者以外立ち入りを禁止する。  
適切な保護具を着用する。
- 環境に対する注意事項：流出した製品が、河川などに排出され、環境への影響を起ささないよう注意する。
- 除去方法：漏出源を遮断し、漏れを止める。少量の場合、乾燥砂、土、おがくず、ウエスなどに吸収させて、密閉できる空容器に回収する。大量の場合、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。不活性の物質(例：乾燥砂、土)に吸収させ回収する。残りは多量の水で洗い流す。
- 二次災害の防止策：着火源を取り除くとともに換気を行う。  
着火した場合に備えて、消化用器材を準備する。

## 取扱いおよび保管上の注意

- 取扱い：  
技術的対策：(取扱者の暴露防止)  
皮膚に付いたり、蒸気を吸入しないよう適切な保護具を着用する。(火災・爆発の防止)  
取り扱い中および蒸気(臭気)がなくなるまでの間、パイロットバーナー、電気の着火源(スパークおよびニクロム線)その他すべての着火源を除く。  
注意事項：密閉された装置、機械、又は局所排気装置を使用する。  
取り扱いは換気のよい場所で行う。野外での取り扱いはできるだけ風上から作業する。  
安全取扱い注意事項：容器に過度の衝撃を加える、転倒させる、落下させる、又は引きずるなどの粗暴な扱いをしない。
- 保管：  
適切な保管条件：直射日光を避け、密栓して冷暗所に保管する。安全な容器包装材料：ガラス等

## TritonX-100について記載

## 暴露防止措置及び保護措置

設備対策：屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化または局所排気装置を設置する。取り扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗顔設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

管理濃度：未設定

許容濃度：未設定

保護具：

呼吸器用の保護具：空気呼吸器(SCBA)を着用する。

有機ガス用防毒マスクを着用する。

手の保護具：状況に応じて、ゴム製などの不浸透性の手袋を着用する。

目の保護具：保護眼鏡または安全ゴーグルを使用する。

皮膚及び身体の保護具：状況に応じて、ゴム製の前掛け、長靴、保護衣などの不浸透性の保護具の接触を避けるために着用する。

## 物理及び化学的性質

化学名または一般名：TritonX-100

物理的状態：

形状：澄明～わずかに濁った粘性のある液体

色：無色～微黄色

臭い：特有臭

pH：5.0 - 8.0(50g/L, 25℃)

物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲：

沸点：270℃

融点/凝固点：6℃

分解温度：知見なし

引火点：274℃

発火点：知見なし

爆発特性：知見なし

蒸気圧：0.1mHg(20℃)

比重/密度：1.07

溶解性：水に対する溶解性：よく溶ける(41.7g/100ml(17℃))

オクタール/水分配係数(low Pow)：知見なし

## 安定性及び反応性

安定性：予期される通常の保管及び取扱いの条件において安定と考えられる。

反応性：強酸化剤と反応する。

避けるべき条件：日光、熱、酸化剤との接触

危険有害な分解生成物：一酸化炭素

## TritonX-100について記載

## 有害性情報

急性毒性：経口摂取すると、口、のど、胃が刺激され、悪心、嘔吐などを起こすことがある。

経口、経皮、吸入毒性

経口 ラット LD50 1,800mg/kg

皮膚 ウサギ LD50 3g/kg 以上

局所効果：皮膚、眼などを刺激することがある。

皮膚、目への刺激性

眼 ラビット 10  $\mu$  L/24H Moderate

皮膚 ラビット 500  $\mu$  L/24H Mild

感作性：データなし

慢性毒性・長期毒性：データなし

がん原性：IARCおよびNTPのリストに記載されていない。

変異原性：データなし

催奇形性：データなし

生殖毒性：データなし

## 環境影響情報

移動性：データなし

残留性/分解性：データなし

生態蓄積性：データなし

生態毒性：データなし

魚毒性：データなし

## 廃棄上の注意

燃焼性の溶剤に溶解または混合し、アフターバーナーおよび排ガス洗浄装置を備えた焼却装置で焼却処理する。もしくは正式認可を得た処理業者に内容を明確に開示して処理を委託する。

## 輸送上の注意

国連分類に該当しない。

輸送の特定の安全対策及び条件：運搬に際して、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷のないように積み込み。荷崩れ防止を確実にを行う。

## 適用法令

労働安全衛生法に該当しない

毒物及び劇物取締法に該当しない

化学物質排出把握管理促進法

法第2条第2項、施行令第1条別表第1第一種指定化学物質 番号408

[平成21年9月30日以前：第一種指定化学物質 番号308]

消防法に該当しない

## その他（引用文献等）

- ・引用 原料試薬供給先から提供された MSDS 等

\*危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。

\*本データシートは情報を提供するものであって、記載内容を保証するものではありません。